

平成28年度 大学の世界展開力強化事業 審査結果表

大 学 名	○京都大学、関西大学	タイプ	B
事 業 名	気候変動下でのレジリエントな社会発展を担う国際インフラ人材育成プログラム		

〔評価コメント〕

本事業計画は、気候変動と災害の影響が拡大化する時代において、それぞれの地域の歴史・社会・経済状況を理解し、気候変動下でのレジリエントな社会の担い手となる「インフラ人材」を京都大学、関西大学及び交流する相手大学と協力して育成することを目的としており、対象地域が直面する喫緊の課題をテーマとした時宜に適ったプログラムである。加えて、各種補助金を活用して実施している既存の取組との有機的連動性・進化性も見られ、プログラムも学部・修士・博士と各ステップで体験・修得する内容が吟味されており、その間の連動性も見られる。全体として座学、現地調査、企業体験も有機的に連動しており、学修成果も期待でき、他大学の模範となり得るプログラムとなっている。

また、京都大学の「WINDOW構想」や「教育の国際化の推進」の文脈においても本事業は確かな位置付けを占めている。事業展開をする上での大学の体制においても、既存の取組で十分な環境整備がされており、全体的に実現可能性の高い計画となっている。

学生の支援体制についても「国際交流サービスオフィス」が既に存在し、そこで培った経験値をもとに、派遣・受入学生への対応についてもしっかりした仕組みが構築されている。

一方で、カリキュラムの面では設定テーマとの連動性・接続性が不明瞭である印象を受けるので、求める人材を育成するために十分な教育効果を得られるよう、更なる検討が望まれる。

最後に、今回「大学の世界展開力強化事業」に採択された貴学におかれては、将来の我が国とASEAN諸国との関係を見据え、質保証を伴った国際教育連携の先導的モデルに中心となって取り組む拠点大学であるということの意義とその責任、期待の重さを認識し、事業内容の実現に向け真摯に取り組まれることを強く要請する。